

平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 生涯学習課					
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり		重点的方針	2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり				
分野別方針	生涯学習・スポーツ、歴史・文化		実施計画事業	生涯学習振興事業(No.30)				
予算等事業名	にのみや町民大学推進事業							
目的	学習機会の提供や学習相談や情報提供などの学習支援を行い、町民の生涯学習の推進を図る。							
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学習機会の提供・学習相談(生涯学習指導員の配置) ・町民大学の開講 							
根拠法令・条例等								
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由	生涯学習指導員の配置及び町民大学講座の開催を計画通り進捗している。				

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 削減は困難
理由	町民大学講座については、委託をしている生涯学習ボランティアとの調整が必要となる。		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難
理由	現状においても、町民大学講座の企画運営業務を委託し、効率化を図っている。		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)		A
	【説明】 今後も町民大学講座の開催や学習相談を通じて、町民の生涯学習の推進を図る。		

総合評価

実績	にのみや町民大学講座の開催		
中間評価との相違点			
事業指標(数値指標)			
中期(28年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】		
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
町民大学講座の実施状況(講座のジャンル、参加定員充足率、参加者の反応等)			

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		1,858	1,854	1,852			
財源内訳	一般財源	1,711	1,727	1,679			
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他	147	127	173			

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 学習機会の提供や学習相談を通じて町民の生涯学習の推進に寄与している。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	C
	【説明】 町民大学については、委託で行っている。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 町民大学講座の開催等町民の生涯学習の推進に寄与している。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	B
	【説明】 委託業務に職員が関わっているため、その分の人件費がかかっている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 委託することにより数多くの町民大学講座を実施しているが、それに職員がどこまで関わるのかの検討が必要。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	委託をしている生涯学習ボランティアによる町民大学講座の自主運営化をめざす。	

◎評価者[担当主管課長]

<input type="checkbox"/> ① 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施 <input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施 <input type="checkbox"/> ④ 廃止	
理由	町民による町民のための学習の場づくりを推進する。
今後の方向性	委託をしている生涯学習ボランティア等町民が主体となった町民大学講座の運営をめざす。

平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 生涯学習課
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり	重点的方針	2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり
分野別方針	生涯学習・スポーツ、歴史・文化	実施計画事業	生涯学習振興事業(No.30)
予算等事業名	図書館資料整備事業		
目的	学習機会の提供や学習相談や情報提供などの学習支援を行い、町民の生涯学習の推進を図る。		
内容	・資料の整備(図書等の購入)		
根拠法令・条例等	図書館法第3条		
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている <input type="checkbox"/> ③ 未実施
②、③に対する理由			

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難
理由	資料費の削減はサービスの低下につながるため。		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難
理由	事業の性格上効率化は困難である。		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 計画通りに進んでいるが、町民の要望等により購入資料について随時改善を図っていく必要がある。	

総合評価

実績	図書館資料の購入・収集		
中間評価との相違点			
事業指標(数値指標)	蔵書冊数		
中期(28年度)目標値	214,000冊		【目標値の根拠または数値で表わせない指標】
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費	7,050	7,050	7,093			
財源内訳	一般財源	6,043	6,050	6,286		
	国庫支出金					
	県支出金					
	その他	1,007	1,000	807		

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 図書館で資料を購入することで、町民の生活に必要な情報や資料を収集し提供できるため。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 町の施策や町民の要求を把握し、必要な資料を収集することは町が主体となって実施すべきことである。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	A
	【説明】 年間貸出冊数が24万点以上あり、町民に大変利用されている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 雑誌スポンサー制度や図書の寄贈を積極的に活用し、資料費の削減に努めている。また27年度より図書館基金から資料費の充当を行っている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 図書館基金を有効的に活用するため、活用方法(重点購入の計画)やPRの方法について検討する必要がある。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	図書館基金を活用し、資料の整備に努める。図書館基金や雑誌スポンサー制度、図書やCDの寄贈の呼びかけなどPRを積極的に行い、資料の充実に努める。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	図書館基金の活用等により、費用を抑制しつつ資料の充実が図られている。		
今後の方向性	今後も限られた経費で最大の効果が得られるよう、検討していく。		

平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 生涯学習課
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり	重点的方針	2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり
分野別方針	生涯学習・スポーツ、歴史・文化	実施計画事業	生涯学習振興事業(No.30)
予算等事業名	社会教育委員経費		
目的	学習機会の提供や学習相談や情報提供などの学習支援を行い、町民の生涯学習の推進を図る。		
内容	・社会教育委員会議の開催		
根拠法令・条例等	社会教育法 二宮町社会教育委員条例		
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか				
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/> ③ 未実施
②、③に対する理由	社会教育委員会議を計画通り実施している。			

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか				
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由	会議経費及び社会教育委員の研修会等必要最低限の経費で実施しているため、削減は困難。			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか				
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由	現状において、生涯学習センター運営審議会と兼務し、同日に会議を実施するなど効率化を図っている。			

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 教育委員会の諮問機関であり、生涯学習課の事業を遂行していく上で必要であるため、今後も引き続き会議を実施していく。	

総合評価

実績	社会教育委員会議定例会【第1回:平成28年5月16日、第2回:平成28年7月12日、第3回:平成28年10月5日、第4回平成28年11月30日、第5回:平成29年1月27日、第6回:平成29年2月23日】				
中間評価との相違点	社会教育委員会議では委員から積極的な意見が出ており、定例会とテーマ研究会を今後も継続して実施する。				
事業指標(数値指標)					
中期(28年度)目標値	6回		【目標値の根拠または数値で表わせない指標】		
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	会議の実施回数の維持	
	6回				

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費	302	266	274			
財源内訳	一般財源	302	266	274		
	国庫支出金					
	県支出金					
	その他					

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 社会教育を推進していく上で、社会教育委員会議は必要である。	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 教育委員会が行う社会教育事業についての諮問機関であり、町が主導で行う必要がある。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	B
	【説明】 社会教育事業に対し、委員からさまざまな視点からの意見をいただき、事業遂行に役立っている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	B
	【説明】 費用をかけずに意見聴取ができているが、会議回数については検討の余地がある。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B:妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C:事業全体を見直す必要がある D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 社会教育事業に対する意見を述べるにとどまらず、社会教育委員が主体となったテーマ研究の運営について検討していく必要がある。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	社会教育委員が主体となった調査・研究の手段・方法について検討する必要がある。	

◎評価者[担当主管課長]

<input type="checkbox"/> ① 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施 <input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施 <input type="checkbox"/> ④ 廃止	
理由	社会教育を推進するために、必要な組織である。また、テーマ研究に初めて取り組んだところである。 会議の開催回数については、検討する必要がある。
今後の方向性	テーマ研究について、継続するか新たなテーマに切り替えるのか検討する。

平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 生涯学習課					
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり		重点的方針	2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり				
分野別方針	生涯学習・スポーツ、歴史・文化		実施計画事業	青少年育成支援事業(No.31)				
予算等事業名	青少年育成地域活動事業							
目的	青少年指導員の指導・助言により、子ども達の健全育成のため、地域のジュニアリーダーの育成を図るとともに、子ども会活動を支援する。また、青少年関係団体との連携に努め、青少年を取り巻く社会環境の浄化活動を行う。							
内容	・ジュニアリーダーの養成(研修会の開催)							
根拠法令・条例等	神奈川県青少年保護育成条例 二宮町青少年指導員設置規則							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか							
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由		青少年指導員連絡協議会に事業委託し、連携しながら計画通り進んでいる。					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか						
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由		研修の内容によっては検討できるが、企画運営を行っている青少年指導員連絡協議会との調整が必要である。				

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか						
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由		企画運営を行っている青少年指導員連絡協議会との調整が必要である。				

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)					B
	【説明】 ジュニアリーダー養成の必要性はあるが、対象者が集まらないという現状はあるため、内容や手法について検討して必要がある。					

総合評価

実績	青少年指導員連絡協議会(年5回)、ジュニアリーダー養成研修会の開催(年4回)、中学生交流洋上体験研修事業、一市四町青少年交流キャンプ					
中間評価との相違点						
事業指標(数値指標)						
中期(28年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】					
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	青少年指導員連絡協議会(年5回)、ジュニアリーダー養成研修会の開催(年4回)、中学生交流洋上体験研修事業、一市四町青少年交流キャンプの実施状況		

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費	1,566	1,392	1,411			
財源内訳	一般財源	1,202	1,045	1,056		
	国庫支出金					
	県支出金	284	284	255		
	その他	80	63	100		

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	B
	【説明】 町として青少年の健全育成を進めていく必要がある。	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	C
	【説明】 ジュニアリーダー養成については、委託で実施している。広域連携事業については、関係市町村で連携して実施している。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	B
	【説明】 目に見える効果が分かりにくい、自然体験や集団生活により、社会性や協調性を高める一助となっている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	B
	【説明】 費用を抑えてはいるものの、参加者が集まらない。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B:妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C:事業全体を見直す必要がある D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 小学校高学年から年齢が上がるに連れ、教育委員会で実施する社会教育事業になかなか参加してこない現状があり、その傾向が年々顕著になっていることから、事業展開を検討する必要がある。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	現代の青少年やそれを取り巻く家庭や地域の現状を踏まえ、教育委員会で行う事業や青少年指導員のあり方について検討が必要である。	

◎評価者[担当主管課長]	
<input type="checkbox"/> ①現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> ②改善して町が実施 <input type="checkbox"/> ③改善して町以外が実施 <input type="checkbox"/> ④廃止	
理由	洋上体験研修及びジュニアリーダー養成研修いずれも参加者が年々減少しているのにもかかわらず、毎年度、同じような事業が繰り返し行われている。
今後の方向性	民間が主体で開催したほうが効率的で良いものはその方向へ促し、柔軟性のある取組みによって参加者の増加を促す必要がある。

平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 生涯学習課
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり	重点的方針	2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり
分野別方針	生涯学習・スポーツ、歴史・文化	実施計画事業	青少年育成支援事業(No.31)
予算等事業名	青少年社会環境浄化活動関係経費		
目的	青少年指導員の指導・助言により、子ども達の健全育成のため、地域のジュニアリーダーの育成を図るとともに、子ども会活動を支援する。また、青少年関係団体との連携に努め、青少年を取り巻く社会環境の浄化活動を行う。		
内容	・社会環境の浄化(パトロールの実施)		
根拠法令 ・条例等			
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由	環境浄化推進員の協力のもと、年間通じてパトロールを実施している。		

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難
理由	必要最低限の経費で実施しているため、削減は困難である。		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難
理由	パトロールの回数や時期の見直し等は検討できる。		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 環境浄化推進員や関係団体の協力のもと、今後も継続していく。	

総合評価

実績	環境浄化パトロール(6回)、青少年健全育成街頭キャンペーン(2回)、愛のパトロール(4回)を実施		
中間評価との相違点			
事業指標(数値指標)	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】		
中期(28年度)目標値			
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	環境浄化パトロール、愛のパトロール、青少年健全育成街頭キャンペーンの実施回数、実施状況等		

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費	170	163	165			
財源内訳	一般財源	99	92	94		
	国庫支出金					
	県支出金	71	71	71		
	その他					

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 継続的にパトロールや啓発活動を行っていくことが必要であり、妥当である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	B
	【説明】 関係機関(県土木事務所、大磯警察等)との連携もあるため、町が主体となった方がよい。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 パトロールにおいて特に青少年の問題行動等はなく、地道な効果が上がっているといえる。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 費用をかけずに成果をあげている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 今後も継続してパトロールや啓発活動を行っていくことが必要であるが、効率性を考えると回数や実施方法等は検討の余地がある。	
今後の方針 (課題・意見等を簡条書き)	今後も継続してパトロールや啓発活動を行っていく。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持 <input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施 <input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施 <input type="checkbox"/> ④ 廃止	
理由	青少年の非行を防止するためにパトロールや啓発活動を行うことは必要なことである。
今後の方向性	今後も継続していく。

平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 生涯学習課					
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり		重点的方針	2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり				
分野別方針	生涯学習・スポーツ、歴史・文化		実施計画事業	青少年育成支援事業(No.31)				
予算等事業名	子ども会活動支援事業							
目的	青少年指導員の指導・助言により、子ども達の健全育成のため、地域のジュニアリーダーの育成を図るとともに、子ども会活動を支援する。また、青少年関係団体との連携に努め、青少年を取り巻く社会環境の浄化活動を行う。							
内容	<ul style="list-style-type: none"> 子ども野外研修(研修会の開催) 子ども会の支援(研修会の開催・事業補助) 							
根拠法令・条例等								
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由	子ども会と連携し、計画通り実施している。				

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 削減は困難
理由	子どもの数が減ってきているため、それに伴う削減は検討できる。		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難
理由	野外研修については、今の形が定着し、マニュアル化できれば効率化が可能となる。		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)		B
	【説明】 今の子どもや保護者等の現状を勘案し、内容を検討していく必要がある。		

総合評価

実績	子ども野外研修の開催(7月23日～24日)、子ども会指導者・青少年指導員合同研修会(2回)の実施、子ども会事業への補助					
中間評価との相違点						
事業指標(数値指標)						
中期(28年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】					
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	子ども野外研修の参加者、子ども会加入率、事業の実施状況		

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		2,733	2,645	2,616			
財源内訳	一般財源	1,978	2,020	1,956			
	国庫支出金						
	県支出金	300	300	300			
	その他	455	325	360			

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 子ども会活動は地域活動を行う上で重要な活動であり、支援として公費投入は妥当である。	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	C
	【説明】 町が行う部分(指導者研修)と委託(野外研修)、補助金(子ども会事業)とすみ分けしている。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	B
	【説明】 子ども野外研修等による子どもの社会教育の場づくりとしては一定の成果があるといえる。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 子ども会や青少年指導員等ボランティアによる運営、受益者負担など、経費を抑え運営している。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B:妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C:事業全体を見直す必要がある D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 子ども野外研修では一定の成果があるといえるが、子ども会の加入率が減っているので、検討が必要。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	子ども会に入ると、役員が回ってくるので、加入したくないという保護者が多くなってきている。子ども会事業の在り方について検討する必要がある。	

◎評価者[担当主管課長]							
<input type="checkbox"/>	① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/>	② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/>	③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④ 廃止
理由	子ども会が主催する場合のメリット、デメリットを検討する必要がある。						
今後の方向性	行政が主体となって実施していくよりも、参加率を高めるような企画・運営に変更しやすいよう、子ども会が主催する方向に促していく。						

平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 生涯学習課
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり	重点的方針	2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり
分野別方針	生涯学習・スポーツ、歴史・文化	実施計画事業	青少年育成支援事業(No.31)
予算等事業名	成人祝賀会関係経費		
目的	青少年指導員の指導・助言により、子ども達の健全育成のため、地域のジュニアリーダーの育成を図るとともに、子ども会活動を支援する。また、青少年関係団体との連携に努め、青少年を取り巻く社会環境の浄化活動を行う。		
内容	・成人祝賀会の開催		
根拠法令 ・条例等			
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている <input type="checkbox"/> ③ 未実施
②、③に対する理由	新成人を祝う場として成人祝賀会を計画通り実施している。		

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難
理由	必要最低限の経費で実施しており、これ以上の削減は困難である。		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難
理由	新成人からなる成人式実行委員会と連携して事業を行っており、これ以上の効率化は困難である。		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 新成人を祝う場として今後も成人祝賀会を実施していく。	

総合評価

実績	成人祝賀会の実施(平成28年1月9日) 出席者新成人247名		
中間評価との相違点			
事業指標(数値指標)			
中期(28年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】		
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			成人祝賀会の実施状況

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費	130	130	130			
財源内訳	一般財源	130	130	130		
	国庫支出金					
	県支出金					
	その他					

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 二宮町の将来を担う新成人を祝福することに公費を投入することは妥当である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 新成人からなる実行委員会に補助金を出し、成人祝賀会への支援は妥当である。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	A
	【説明】 多くの同級生が集うことで、大人としての意識を高める場として成果を上げている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 懇親会は参加費で賄っており、ホール代等必要最低限の補助金交付のみで成果を上げている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 今後も新成人を祝福する場として実施していく。	
今後の方針 (課題・意見等を簡条書き)	今後も新成人を祝福する場として実施していく。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持 <input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施 <input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施 <input type="checkbox"/> ④ 廃止	
理由	成人式式典は必要な経費のみで効率的に運営しているので、改善の余地は、ほとんどない。
今後の方向性	継続していく。

平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 生涯学習課					
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり		重点的方針	2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり				
分野別方針	生涯学習・スポーツ、歴史・文化		実施計画事業	家庭・地域・学校の協力連携事業(No.32)				
予算等事業名	家庭・地域教育推進事業							
目的	家庭や地域社会の教育の充実を図るため、講座・研修会等を開催する。							
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA活動の支援(研修開催・活動支援) ・子育て支援(ゼミナールの開催) ・放課後子ども教室の開催 ・子どもチャレンジ教室の開催 							
根拠法令・条例等								
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか							
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由	計画通りそれぞれの事業を実施している。						

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか						
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由	事業内容により削減は可能である。					

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか						
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由	現状の職員主体であれば、効率化は困難である。					

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)					B
	【説明】 放課後子ども教室については、地域や関係団体が主体的に運営できることが理想的であり、今後の動向を見ながら移行を検討する。					

総合評価

実績	PTA役員研修、PTA家庭教育学級への補助、放課後子ども教室(12回)、子どもチャレンジ教室(7講座)					
中間評価との相違点						
事業指標(数値指標)						
中期(28年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】					
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	上記事業の実施状況(参加者数、参加者の反応等)		

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費	753	727	686			
財源内訳	一般財源	604	599	551		
	国庫支出金					
	県支出金	80	76	65		
	その他	69	52	70		

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 子育て支援、子どもの健全育成に係わる事業であり、公費を使うのは妥当である。	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	B
	【説明】 町が主導となって行った方がよい事業もあるが、委託で出来る部分は委託して行っている。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	A
	【説明】 子育て支援、子どもの体験活動の場、安心な居場所づくりとして成果を上げている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	B
	【説明】 費用をかけずに実施しているが、事業によっては職員のかかわり方等見直しが必要である。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B:妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C:事業全体を見直す必要がある D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 一定の効果はあるが、職員のかかわり方や団体への委託等見直しが必要である。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	町が主導で、町民が協力という事業展開から、町民主導で、町は情報提供や場の提供等の支援という方向への事業展開にシフトチェンジしていく必要がある。	

◎評価者[担当主管課長]							
<input type="checkbox"/>	① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/>	② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/>	③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④ 廃止
理由	児童の見守りなどについて、行政だけでなく、地域力によって進めることができないか推進体制を検討する必要がある。						
今後の方向性	放課後子ども教室は、今後、行政主導ではなく、地域再生協議会など地域が主体となって事業推進するように移行していく。						

平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 生涯学習課
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり	重点的方針	2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり
分野別方針	生涯学習・スポーツ、歴史・文化	実施計画事業	スポーツ活動振興事業(No.33)
予算等事業名	少年少女ソフトバレーボール大会事業		
目的	広く町民にスポーツ・レクリエーションの普及を図り、スポーツ精神の高揚と併せて体力づくりを推進する。		
内容	・スポーツ推進委員連絡協議会(会議・見直し、大会実施)		
根拠法令・条例等	少年少女ソフトバレーボール大会実施要領		
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている <input type="checkbox"/> ③ 未実施
②、③に対する理由			

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 削減は困難
理由	28年度で事業終了となるため。		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難
理由			

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	D
	【説明】 少年少女ソフトバレーボール大会は、対象が中学生です。しかし、年々各地区に中学生が少なくなり、事業継続が出来ないため、28年度で終了としました。	

総合評価

実績	大会会議(4回)・実技講習会(3回)・審判講習会(4回)・前日準備(28年7月29日) 大会開催(28年7月30日・31日)		
中間評価との相違点	少年少女ソフトバレーボール大会を終了し、子どもから大人までが楽しみ・健康づくり等が出来る事業をスポーツ推進委員主催で実施する。		
事業指標(数値指標)			
中期(28年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】		
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			少年少女ソフトバレーボール大会実施状況(中学生の参加状況)

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費	150	150	0			
財源内訳	一般財源	150	150	0		
	国庫支出金					
	県支出金					
	その他					

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	C
	【説明】 28年度で事業を廃止	
	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	
	【説明】	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	
	【説明】	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	
	【説明】	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B:妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C:事業全体を見直す必要がある D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	D
	【説明】 参加対象である、中学生の減少で、地区で参加が出来ない状況である。	
今後の方針 (課題・意見等を簡条書き)	29年度よりスポーツ推進委員主催のバウンズボール大会を7月29日・30日に開催予定。	

◎評価者[担当主管課長]

<input type="checkbox"/> ① 現状維持 <input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施 <input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施 <input checked="" type="checkbox"/> ④ 廃止	
理由	平成28年度で少年少女ソフトバレーボール大会は終了。
今後の方向性	スポーツ推進委員が中心となって、地区別対抗による大会ではなく、子どもから大人まで参加できる個別のチーム編成で行う、バウンズボール大会を開催する。

平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 生涯学習課
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり	重点的方針	2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり
分野別方針	生涯学習・スポーツ、歴史・文化	実施計画事業	スポーツ活動振興事業 (No.33)
予算等事業名	町内一周継走大会事業		
目的	広く町民にスポーツ・レクリエーションの普及を図り、スポーツ精神の高揚と併せて体力づくりを推進する。		
内容	・スポーツ推進委員連絡協議会・体育協会理事・評議員会議(会議・見直し、大会実施)		
根拠法令・条例等	町内一周継走大会要項		
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由	必要最小限の経費で実施しているため、削減は難しい。				

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由	毎年事業の効率化を図っているため、検討出来る。				

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 継走大会に、参加する地区の選手集めの問題点や役員として協力して頂く、体育協会の協力人員数の問題点など改善する必要があると考えます。	

総合評価

実績	大会会議(7回)・前日準備(28年12月9日)・大会開催(28年12月10日)					
中間評価との相違点	道路状況や参加者の状況を判断しながら、警察及び関係者と調整をして実施していく。					
事業指標(数値指標)						
中期(28年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】					
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	継走大会参加者実施状況(選手・役員)		

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費	191	155	166			
財源内訳	一般財源	191	155	166		
	国庫支出金					
	県支出金					
	その他					

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 子どもの健全育成・地域の繋がりに係わる事業であり、公費を使うのは妥当である。	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	B
	【説明】 町が主導となって行った方がよい事業もあるが、委託で出来る部分は委託して行っている。又、警察と調整が必要な事業である。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	B
	【説明】 子どもの健全育成・地域の繋がりの事業として成果は上がっている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	B
	【説明】 安全管理における経費は、必要である。その他の部分では、経費をかけず、成果を上げているが、まだ、改善の余地はある。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B:妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C:事業全体を見直す必要がある D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 子どもの健全育成と地域の繋がりに、さらなる検討が必要である。	
今後の方針 (課題・意見等を簡条書き)	道路状況によりコースや運営方法について、検討を進める必要がある。	

◎評価者[担当主管課長]							
<input checked="" type="checkbox"/>	① 現状維持	<input type="checkbox"/>	② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/>	③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④ 廃止
理由	少ない経費で、効果を上げている。						
今後の方向性	継続する。						

平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 生涯学習課
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり	重点的方針	2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり
分野別方針	生涯学習・スポーツ、歴史・文化	実施計画事業	スポーツ活動振興事業(No.33)
予算等事業名	二宮町体育祭事業		
目的	広く町民にスポーツ・レクリエーションの普及を図り、スポーツ精神の高揚と併せて体力づくりを推進する。		
内容	・スポーツ推進委員連絡協議会・体育協会理事・評議員会議(会議・見直し、大会実施)		
根拠法令・条例等	体育祭要項		
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由			

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難
理由	今年度は、大幅な経費削減を行い、事業を実施しました。次年度は、内容は検討するが、経費削減は難しい。		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難
理由	事業の効率化は、毎年検討しているため実施出来る。		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 事業の効果は、非常に高く、町の活性化にも十分繋がっている。引き続き事業の推進を進めていきたい。	

総合評価

実績	大会会議(7回)・前日準備(10月1日)・大会開催(10月2日)		
中間評価との相違点	事業効果は上がっているが、多くの町民が参加しやすい、事業を進めていく。		
事業指標(数値指標)			
中期(28年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】		
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			体育祭参加者実施状況(地区参加者・役員)

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費	890	870	1,005			
財源内訳	一般財源	854	870	1,041		
	国庫支出金					
	県支出金					
	その他	36	36	36		

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 子どもの健全育成・地域の繋がり・健康づくりに係わる事業であり、公費を使うのは妥当である。	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	B
	【説明】 町が主催で事業を実施している。体育協会へ委託を行っている。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	B
	【説明】 子どもの健全育成・地域の繋がり・健康づくりの事業として成果は上がっている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	B
	【説明】 安全管理における経費は、必要である。その他の部分では、経費をかけず、成果を上げているが、まだ、改善の余地はある。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B:妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C:事業全体を見直す必要がある D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 引き続き、事業を推進しながら、運営方法や競技内容を検討し、充実する必要がある。	
今後の方針 (課題・意見等を簡条書き)	協力役員の高齢化により、役員協力や運営方法を検討し、進める必要がある。	

◎評価者[担当主管課長]

<input type="checkbox"/> ① 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施 <input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施 <input type="checkbox"/> ④ 廃止	
理由	地域から運営方法や負担軽減についての要望があるため、対応を検討していく。
今後の方向性	原則、継続して実施する予定であるが、毎年、実施することが難しいようであれば、隔年開催などについて検討していく必要がある。

平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 生涯学習課					
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり		重点的方針	2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり				
分野別方針	生涯学習・スポーツ、歴史・文化		実施計画事業	スポーツ推進団体支援事業(No.34)				
予算等事業名	社会体育推進事業							
目的	社会体育振興のため町体育協会を中心とする各種団体に補助をしてスポーツ振興及びスポーツ団体の強化を図る。							
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ事業の内容及び開催日検討・町団体補助事業 ・各種スポーツ事業の傷害保険の検討、実施 							
根拠法令 ・条例等								
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか				
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由	傷害保険料は、事業の参加人数や内容を検討して、経費削減は検討出来ます。しかし、団体への補助は、各団体数や人員により増減することがある。			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか				
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由	事業の効率化を図るため、団体と意見交換を図りたい。			

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)			A
	【説明】 体育協会は、町に必要な団体であります。しかし、体育協会への補助については、年々各団体登録人数が減少している。そのため、体育協会を支援し、活性化を図りたい。			

総合評価

実績	体育協会へ補助及び市町村対抗駅伝補助 各事業傷害保険・サッカー教室講師謝礼(29年1月29日開催)				
中間評価との相違点	体育協会所属団体へのメリットや支援を検討し、活性化を図るよう継続して進めていく。				
事業指標(数値指標)					
中期(28年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】				
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	体育協会団体加盟数及び協会員 事業参加者など	

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費	1,345	1,306	1,421			
財源内訳	一般財源	1,345	1,306	1,421		
	国庫支出金					
	県支出金					
	その他					

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 団体育成や事業協力等を行うため、公費を使うのは妥当である。	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	B
	【説明】 町が主催する事業で体育協会の協力が必要なため。又、事業の主催は町のため。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	B
	【説明】 成果は上がっているが、より一層の成果が必要である。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 体育協会が自主活動出来ような支援を継続して行う。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B:妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C:事業全体を見直す必要がある D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 体育協会へ事業協力を行う上で、必要な団体であり、継続した推進が必要である。	
今後の方針 (課題・意見等を簡条書き)	体育協会の会員の高齢化や会員の減少が進んでいる。体育協会加入のメリットを検討する必要がある。	

◎評価者[担当主管課長]

<input type="checkbox"/> ① 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施 <input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施 <input type="checkbox"/> ④ 廃止			
理由	体育協会への加入率を増加させる方策を検討すべきである。		
今後の方向性	体育協会への加入率が改善する見込みがないようであれば、体育協会の使命、目的を再検証して、体育協会自体のあり方を検討していく。		

平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 生涯学習課
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり	重点的方針	2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり
分野別方針	生涯学習・スポーツ、歴史・文化	実施計画事業	スポーツ推進団体支援事業(No.34)
予算等事業名	スポーツ推進委員活動事業		
目的	社会体育振興のため町体育協会を中心とする各種団体に補助をしてスポーツ振興及びスポーツ団体の強化を図る。		
内容	・スポーツ推進委員連絡協議会(年間予定検討)		
根拠法令・条例等	スポーツ基本法 スポーツ推進委員に関する規則		
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている <input type="checkbox"/> ③ 未実施
②、③に対する理由			

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難
理由	スポーツ推進委員は、任期が1期2年のため、ユニホームが必要です。しかし、経費削減をするため、各地区で対応を検討している。		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難
理由	スポーツ推進委員と協議を行い、効率化を図りたい。		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)		A
	【説明】 29年度より少年少女ソフトバレーボール大会に代わる、新規自主事業を検討し、進めています。そのため、事業の推進を図りたい。		

総合評価

実績	会議・研修会・事業(全57回)		
中間評価との相違点	少年少女ソフトバレーボール大会終了で、29年度より主催事業で、バウンスボール大会を開催予定です。		
事業指標(数値指標)			
中期(28年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】		
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			スポーツ推進委員出席状況

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	予算	決算	予算	決算	4	決算
直接事業費	766	719	775			
財源内訳	一般財源	766	719	775		
	国庫支出金					
	県支出金					
	その他					

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 団体育成・町事業協力・主催事業を行うため、公費を使うのは妥当である。	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	B
	【説明】 町主催事業は、町が主体となり、スポーツ推進委員主催事業については、協力は必要である。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	A
	【説明】 成果は十分上がっている。より一層主催事業を実施するにあたり、成果を上げていきたい。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 スポーツ推進委員主催事業は、費用をかけず成果を上げています。今後、町事業も移行が出来れば、費用をかけず、事業が出来る。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B:妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C:事業全体を見直す必要がある D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 スポーツ推進委員の活動意識が高く、町と協力して、事業の推進を進めていく。	
今後の方針 (課題・意見等を簡条書き)	今後、スポーツ推進委員主催事業を展開し、町のスポーツ発展に協力を頂き、事業推進を図りたい。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	特になし。		
今後の方向性	継続していく。		

平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 生涯学習課					
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり		重点的方針	2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり				
分野別方針	生涯学習・スポーツ、歴史・文化		実施計画事業	文化振興事業(No.35)				
予算等事業名	文化振興事業							
目的	町民の文化・芸術活動を奨励し、活動をとおして町民相互の交流を深め心豊かな心でうるおいのある生活ができるよう開催する。							
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭実施 ・マラソンコンサート実施 ・文化振興補助(優れた公演を支援) ・文化団体支援(町民の文化活動を支援) 							
根拠法令・条例等								
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか									
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施		
②、③に対する理由		それぞれの事業を計画通りに実施している。							

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか									
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 削減は困難					
理由		文化団体連盟と協議したり、文化支援の仕組みを見直すなど検討していく予定である。							

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか									
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難					
理由		経費の削減と併せて検討していく。							

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)					B
	【説明】 文化団体連盟加盟団体の減少などの課題があり、文化祭や文化振興補助金のあり方については今後検討していく。					

総合評価

実績	文化祭(10月14日～11月6日)、ラディアンピアノマラソンコンサート(3月5日)、文化団体連盟への補助、文化振興団体への補助				
中間評価との相違点					
事業指標(数値指標)					
中期(28年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】				
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	文化祭、ラディアンピアノマラソンコンサートの実施状況	

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費	1,068	1,052	992			
財源内訳	一般財源	868	888	792		
	国庫支出金					
	県支出金					
	その他	200	164	200		

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 町の文化の振興を推進するため、公費の投入は妥当である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	B
	【説明】 一部の事業については、団体に委託している。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 ラディアンホール等を生かし、多様な文化事業を展開している。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 文化団体連盟が運営へ参画し、経費をかけずに実施できている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 文化団体連盟は高齢化による役員のなり手がいないという問題があり、今後の方向性について検討する時期にきている。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	文化祭の観覧者数が少なく、委託をしている文化団体連盟の高齢化が深刻な問題である。文化祭や文化団体連盟のあり方について検討が必要である。	

◎評価者[担当主管課長]			
<input type="checkbox"/>	① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/>	② 改善して町が実施
<input type="checkbox"/>	③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④ 廃止
理由	町民の文化、芸能活動の推進の一助になっている。ただし、文化団体連盟の加入団体の減少が続いているため、会のあり方を検討する必要がある。		
今後の方向性	事業を継続しながら、検討を進める。		

平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 生涯学習課					
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり		重点的方針	2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり				
分野別方針	生涯学習・スポーツ、歴史・文化		実施計画事業	ふるさと教育推進事業(No.36)				
予算等事業名	文化財保護普及啓発事業							
目的	町指定文化財の管理運営を補助するなど、町の文化財保護の推進を図るとともに、歴史や文化財を町民に広く周知し、文化財保護の思想を高め、町を愛する心を養う。							
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・町の歴史や文化財の研究(文化財保護事務嘱託員の配置) ・文化財保護(文化財保護委員会の開催) ・バーチャル郷土館(バーチャル郷土館の運営) ・町指定文化財の管理(町指定文化財管理への支援) 							
根拠法令・条例等	文化財保護法 文化財保護条例							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由		計画通り事業を実施している。						

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか								
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 削減は困難				
理由		事業によっては検討できる。						

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難				
理由		専門性が必要な分野であり、専門職の配置により効率化が図られている。						

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)						A
	【説明】 専門性が必要な分野であり、町民のニーズも専門化しているため、今後も専門職の配置が必要である。						

総合評価

実績	文化財保護事務嘱託員の配置、文化財保護委員会の開催(2回)、バーチャル郷土館の更新、町指定文化財管理補助					
中間評価との相違点						
事業指標(数値指標)						
中期(28年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】					
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	文化財保護委員会の開催、バーチャル郷土館の更新状況		

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費	1,918	1,902	1,898			
財源内訳	一般財源	1,918	1,902	1,898		
	国庫支出金					
	県支出金					
	その他					

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 文化財保護普及は町が率先してすべきであり、公費を投入することは妥当である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 町が主導により行う必要がある。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 文化財保護事務嘱託員の配置により、専門的な対応が可能となっている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 費用をかけずに、保護普及に努めている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 文化財保護事務嘱託員の配置により、適切な対応ができている。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	今後も専門職の配置と文化財保護委員の意見聴取を行い、適切な普及啓発が必要である。	

◎評価者[担当主管課長]			
<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	特になし。		
今後の方向性	継続していく。		

平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 生涯学習課			
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり	重点的方針	2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり			
分野別方針	生涯学習・スポーツ、歴史・文化	実施計画事業	ふるさと教育推進事業(No.36)			
予算等事業名	伝統芸能保存事業					
目的	町指定文化財の管理運営を補助するなど、町の文化財保護の推進を図るとともに、歴史や文化財を町民に広く周知し、文化財保護の思想を高め、町を愛する心を養う。					
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・民俗芸能の保存(民俗芸能団体への支援) ・民俗芸能の紹介(つどいの開催) 					
根拠法令・条例等	文化財保護法 文化財保護条例					
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他		

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由		民俗芸能保存会連絡協議会と連携をし、計画どおりに進捗している。			

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由		民俗芸能保存会連絡協議会との調整が必要である。			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由		民俗芸能保存会連絡協議会の協力が得られれば検討できる。			

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				A
	【説明】 伝統文化を次世代に継承していくために今後も継続して実施していく。				

総合評価

実績	民俗芸能団体への支援、民俗芸能のつどいの実施【10月23日(日)】				
中間評価との相違点					
事業指標(数値指標)					
中期(28年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】				
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	民俗芸能のつどいの実施状況、民俗芸能団体への支援	

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費	579	579	579			
財源内訳	一般財源	579	579	579		
	国庫支出金					
	県支出金					
	その他					

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 伝統文化を継承していく支援を行うため、公費を投入するのは妥当である。	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	B
	【説明】 民俗芸能のつどいは、民俗芸能保存会連絡協議会との共催で実施している。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	B
	【説明】 民俗芸能のつどいが日頃の成果発表の場となり、活動の励みとなっている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 費用をかけずに一定の成果を上げている。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B:妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C:事業全体を見直す必要がある D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 伝統芸能の継承のため、継続して実施する必要がある。	
今後の方針 (課題・意見等を簡条書き)	今後も郷土に伝わる芸能を広く町民に知っていただき、その保存と育成を目指し、大会の開催や団体の育成を支援、協力・連携体制を図っていく。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	町の伝統芸能の保存、育成は町が団体を支援して行くことが必要である。		
今後の方向性	継続していく。		

平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 生涯学習課					
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり		重点的方針	2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり				
分野別方針	生涯学習・スポーツ、歴史・文化		実施計画事業	ふるさと教育推進事業(No.36)				
予算等事業名	埋蔵文化財調査事業							
目的	町指定文化財の管理運営を補助するなど、町の文化財保護の推進を図るとともに、歴史や文化財を町民に広く周知し、文化財保護の思想を高め、町を愛する心を養う。							
内容	<ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財保護行政(埋蔵文化財調査員の配置) 埋蔵文化財の調査(試掘調査) 							
根拠法令・条例等	文化財保護法 文化財保護条例							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由		埋蔵文化財調査員の配置により試掘調査等実施している。						

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難				
理由		本来であれば、正規職員での専門職が求められるところである。						

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難				
理由		本来の埋蔵文化財行政業務ができていないため、困難である。						

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)						B
	【説明】 専門性を必要とする業務の量や質が開発や工事等によるところがあり、予測が困難であるが、専門職員の配置により、町全体の埋蔵文化財の現状を把握し、方向性を示す必要がある。						

総合評価

実績	埋蔵文化財調査員の配置、埋蔵文化財の試掘調査					
中間評価との相違点						
事業指標(数値指標)						
中期(28年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】					
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	埋蔵文化財包蔵地についての照会、試掘調査の状況等		

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費	1,297	978	1,297			
財源内訳	一般財源	1,297	978	1,297		
	国庫支出金					
	県支出金					
	その他					

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 埋蔵文化財の保護について公費を投入することは妥当である。	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 町が主導となって埋蔵文化財の周知・保護に係わる必要がある。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	B
	【説明】 埋蔵文化財の専門職員の配置により、専門的な対応が可能となった。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	B
	【説明】 埋蔵文化財の保護には発掘、調査が必要であり、費用がかかる。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B:妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C:事業全体を見直す必要がある D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 妥当性・有効性はあると言えるが、費用面がかかるため、検討の余地がある。	
今後の方針 (課題・意見等を簡条書き)	現状においては、本格調査等生じていないため、対応ができていないが、大きな案件が生じた場合には、常勤の専門職員の配置が必要である。埋蔵文化財の町としての在り方を検討する必要がある。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	現状では、埋蔵文化財の調査を拡大する必要性を感じていない。		
今後の方向性	埋蔵文化財の調査をどこまでするか、検討の余地がある。		

平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 生涯学習課
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり	重点的方針	2-2 子育てと仕事の両立の推進
分野別方針	自治体経営	実施計画事業	人権啓発活動事業(No.83)
予算等事業名	人権教育推進事業		
目的	人権啓発キャンペーンの実施や人権関係講演会を実施することにより、「人権」に対する町民一人ひとりの意識高揚を図る。		
内容	・人権教育研修会の開催		
根拠法令・条例等			
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている <input type="checkbox"/> ③ 未実施
②、③に対する理由	計画どおりに人権研修会の実施をしている。		

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難
理由	必要最低限の経費で実施しており、削減は困難である。		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難
理由	町部局との共催や連携等により効率化は検討できる。		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 今後も継続して人権研修会等の事業を実施し、人権意識の啓発を行って必要がある。	

総合評価

実績	人権教育研修会の実施【平成29年3月18日(土)、参加者28人】 男女共同参画推進事業の実施【平成29年2月4日(土)、参加者30人】		
中間評価との相違点			
事業指標(数値指標)	参加者数		
中期(28年度)目標値	60人	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	58人		
平成27年度の実績を維持する			

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費	91	77	91			
財源内訳	一般財源	91	77	91		
	国庫支出金					
	県支出金					
	その他					

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 人権教育は町で率先して行う必要がある。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 町が主導で、人権意識の普及啓発する必要がある。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 参加者にとっては、一定の成果があると考ええる。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 費用をかけずに一定の成果を上げている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 継続して地道に啓発を行うことが必要である。	
今後の方針 (課題・意見等を簡条書き)	より多くの方に啓発できるよう、実施内容・方法等を検討していく必要がある。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	特になし。		
今後の方向性	継続していく。		

平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 生涯学習課
基本構想	交通環境と防災対策の向上	重点的方針	3-2 公共施設の総合的マネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり
分野別方針	自治体経営	実施計画事業	公有財産管理運営事業(No.91)
予算等事業名	図書館運営事業		
目的	公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置、及び、行財政運営の効率化による経費の重点配分。		
内容	・効率的な運営の実施		
根拠法令・条例等			
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている <input type="checkbox"/> ③ 未実施
②、③に対する理由			

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難
理由	サービスの低下につながるため。		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難
理由	事業の効率化を図りつつ、利用者増の方策について検討・実施していきたい。		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 今後も事業の効率化を図りつつ、サービスの充実を進めていく。	

総合評価

実績	1年間の入館者数		
中間評価との相違点			
事業指標(数値指標)	利用者数		
中期(28年度)目標値	230,000人		【目標値の根拠または数値で表わせない指標】
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			1年間の入館者数

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費	34,909	34,624	35,660			
財源内訳	一般財源	34,798	34,528	35,549		
	国庫支出金					
	県支出金					
	その他	111	96	111		

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 図書館法第1条の目的に基づき、町が図書館の設置をし、事業に公費を投入する必要がある。	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 学校その他の教育施設等との連携、地域資料の収集保存、蔵書構築の継続性等のため、町による直営が望ましい。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	B
	【説明】 こどもの本コーナーへの相談員の配置や、図書館講座の開催など、利用向上のためのサービスに積極的に取り組んでいる。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	B
	【説明】 未利用者の利用を促すため、今後も、事業を継続し、PRに力を入れていく。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B:妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C:事業全体を見直す必要がある D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 さらなる効率性について検討し、カウンターの人員配置や一部事業の見直し等行い、経費の削減に努める。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	利用促進を図りつつ、効率的な運営に努める。	

◎評価者[担当主管課長]							
<input type="checkbox"/>	① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/>	② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/>	③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④ 廃止
理由	さらに効率化を進め、経費の削減につなげる。						
今後の方向性	今後も適正な管理運営を図っていく。						

平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 生涯学習課
基本構想	交通環境と防災対策の向上	重点的方針	3-2 公共施設の総合的マネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり
分野別方針	自治体経営	実施計画事業	公有財産管理運営事業(No.91)
予算等事業名	生涯学習センター管理運営事業		
目的	公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置、及び、行財政運営の効率化による経費の重点配分。		
内容	・効率的な管理・運営		
根拠法令・条例等	二宮町生涯学習センターの設置及び管理に関する条例		
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか			
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input checked="" type="checkbox"/>	② 計画より遅れている
<input type="checkbox"/>			③ 未実施
②、③に対する理由	設備の突発的な故障が多く、計画していた修繕ができない現状である。		

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難
理由	開館から15年以上経過し、施設や設備の老朽化や故障等が多くみられる。		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難
理由	指定管理者制度等の検討は必要であり、今後検討をしていく。		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 多くの町民に利用されている施設であるが、経年により、修繕や工事をする必要が生じている。	

総合評価

実績	生涯学習センターの管理運営		
中間評価との相違点			
事業指標(数値指標)	ラディアンの稼働率(午前・午後・夜間3区分による算出)		
中期(28年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】		
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	54.30%		

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費	56,430	51,808	59,470			
財源内訳	一般財源	33,064	28,139	35,761		
	国庫支出金					
	県支出金					
	その他	23,366	23,669	23,709		

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 多くの町民が集う文化拠点となっており、公費を投入することが妥当である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	B
	【説明】 一部委託も取り入れながら、町が主体となって実施すべきである。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	A
	【説明】 学習・文化活動の場、芸術に触れる場として多くの方に利用いただいている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 費用を最小限に抑え、成果を上げている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 今後も、町民の利便性や多くの方に利用していただける運営をめざした管理運営を行う。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	今後、老朽化による修繕箇所が年々増加しており、維持管理経費が増大すると予想されるため、修繕計画策定が必要である。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	効率的な運営をしている。		
今後の方向性	近い将来、中長期的な修繕計画を立て、施設を計画的に改修していく必要がある。		

平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 生涯学習課
基本構想	交通環境と防災対策の向上	重点的方針	3-2 公共施設の総合的マネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり
分野別方針	自治体経営	実施計画事業	公有財産管理運営事業(No.91)
予算等事業名	ふたみ記念館管理運営経費		
目的	公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置、及び、行財政運営の効率化による経費の重点配分。		
内容	・観覧者数増加方策の検討		
根拠法令 ・条例等			
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input checked="" type="checkbox"/>	② 計画より遅れている
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由	ボランティアの協力を得ながら、観覧者数を増やすため、イベントの実施等を行っている。		

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難
理由	現状においては必要最低限の経費で運営しており、美術館としての運営をしていくには、削減は困難である。		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難
理由	ボランティア等の支援や協力が得られれば検討できる。		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)		A
	【説明】 ボランティアが主体となり、展示替えの企画やイベントの実施などを行っている。今後も連携してできるだけ多くの方に足を運んでもらえるような方策を検討する。		

総合評価

実績	ふたみ記念館の管理運営		
中間評価との相違点			
事業指標(数値指標)	年間の観覧者数		
中期(28年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】		
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	616		

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費	3,317	3,065	3,286			
財源内訳	一般財源	3,045	2,805	3,041		
	国庫支出金					
	県支出金					
	その他	272	236	245		

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 町の芸術・文化の振興を図るため、公費投入は妥当である。	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	B
	【説明】 町が主導となり、ボランティアや専門家の意見を聞きながら実施するべきである。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	B
	【説明】 町の芸術の拠点として徐々に認知されつつある。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	B
	【説明】 より費用をかけずに効果をあげる必要がある。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B:妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C:事業全体を見直す必要がある D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 さらなるPRと経費削減を進めていく必要がある。	
今後の方針 (課題・意見等を簡条書き)	今後観覧者数を劇的に増やしておくことは困難である。ふたみ記念館のあり方についてボランティアや関係者の意見を聞きながら、今後の方向性について検討していく必要がある。	

◎評価者[担当主管課長]							
<input type="checkbox"/>	① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/>	② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/>	③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④ 廃止
理由	閉館日を週1日増加させることとし、効率的な運営に努めることとしたが、今後の状況によっては、さらなる検討を要する。						
今後の方向性	さらに、効率的な運営を進めていく必要がある。						

平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 生涯学習課
基本構想	交通環境と防災対策の向上	重点的方針	3-2 公共施設の総合的マネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり
分野別方針	自治体経営	実施計画事業	公有財産管理運営事業(No.91)
予算等事業名	テニスコート施設管理運営事業		
目的	公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置、及び、行財政運営の効率化による経費の重点配分。		
内容	・維持管理・運営の検討		
根拠法令・条例等	体育施設の設置・管理等に関する条例及び施行規則		
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている <input type="checkbox"/> ③ 未実施
②、③に対する理由			

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難
理由		毎年、事業内容を検討しているが、維持管理費の削減は難しい。	

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難
理由		事業の効率化を図りたいが、近年、異常気象により、テニスコートの浸水が多く発生しているため、清掃を職員で対応しているため、困難である。	

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	C
	【説明】 テニスコート清掃を職員が実施する回数が多く発生しているため、予算の見直しが必要である。	

総合評価

実績	ラディアン清掃(5回)・緑が丘清掃(2回)		
中間評価との相違点	清掃を職員で対応する回数が28年度も多く発生している。そのため、29年度予算に計上した。		
事業指標(数値指標)			
中期(28年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】		
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			テニスコートの清掃回数

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費	655	646	624			
財源内訳	一般財源	0	0	0		
	国庫支出金					
	県支出金					
	その他	655	646	624		

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 管理運営するにあたり、公費を投入する必要がある。又、職員への負担を考慮し、必要な公費も投入する必要もある。	
	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 管理運営は、町が行い、施設管理は、委託等が必要である。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 利用者へ支障のないように管理運営を行っていることから、成果は上がっている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	C
	【説明】 老朽化により修繕等に費用をかける必要がある。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 全体的に、管理運営はスムーズに出来ているが、清掃や修繕など改善する必要がある。	
今後の方針 (課題・意見等を簡条書き)	今後、維持管理に費用がかかるため、予算確保が必要である。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	町民のスポーツの振興のため、施設管理が適正に行われている。		
今後の方向性	今後も適正な管理に努めが、将来的に、使用料の検証をしていく必要がある。		

平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 生涯学習課
基本構想	交通環境と防災対策の向上	重点的方針	3-2 公共施設の総合的マネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり
分野別方針	自治体経営	実施計画事業	公有財産管理運営事業(No.91)
予算等事業名	武道館施設管理運営事業		
目的	公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置、及び、行財政運営の効率化による経費の重点配分。		
内容	・維持管理・運営の検討・利用団体運営会議		
根拠法令・条例等	二宮町武道館条例及び条例施行規則		
体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他		

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由			

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難
理由	毎年、事業内容を検討しているが、維持管理費の削減は難しい。		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難
理由	武道館は、利用団体協力のもと管理しているため、団体と協議をしながら効率化を図りたい。		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)		B
	【説明】 施設の老朽化に伴い、全体の工事が必要と思います。しかし、運営上、利用に支障が出ない部分のみ修繕することが必要と考えます。		

総合評価

実績	武道館運営会議(年2回)		
中間評価との相違点	全体の工事は現状難しいため、利用者へ支障のないように、管理運営している。		
事業指標(数値指標)	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】		
中期(28年度)目標値			
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			利用団体会議で状況確認

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費	1,011	939	965			
財源内訳	一般財源	0	0	0		
	国庫支出金					
	県支出金					
	その他	1,011	939	965		

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 公費を投入することは妥当だと判断します。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	B
	【説明】 管理運営は、町が行い、施設管理は、委託等が必要である。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 利用者へ支障のないように管理運営を行っていることから、成果は上がっている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	C
	【説明】 老朽化により修繕等に費用をかける必要がある。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	C
	【説明】 施設の老朽化(雨漏りなど)により、修繕だけでは、対応出来ない状態であるため、全体工事が急務である。	
今後の方針 (課題・意見等を簡条書き)	全体の工事・修繕・管理費を町全体で再度検討し、統廃合で今後の方向性を出し必要がある。	

◎評価者[担当主管課長]

<input type="checkbox"/> ① 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施 <input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施 <input type="checkbox"/> ④ 廃止	
理由	町民の体力増進、健康維持及び社会体育団体の振興を図るため、管理運営を行うことは必要である。しかし、施設の老朽化が進んでおり、今後の運営については改修するか統廃合するか岐路に立たされている。
今後の方向性	公共施設再配置実施計画で施設の管理・運営について今後の方向性を明確にしていく。

平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 生涯学習課
基本構想	交通環境と防災対策の向上	重点的方針	3-2 公共施設の総合的マネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり
分野別方針	自治体経営	実施計画事業	公有財産管理運営事業(No.91)
予算等事業名	町立体育館施設管理運営事業		
目的	公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置、及び、行財政運営の効率化による経費の重点配分。		
内容	・維持管理・運営の検討		
根拠法令・条例等	体育施設の設置・管理等に関する条例及び施行規則		
体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他		

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由			

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難
理由		毎年、事業内容を検討しているが、維持管理費の削減は難しい。	

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難
理由		修繕及び工事に、維持管理費がかかり、事業の効率化を図りたいが、難しい。	

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)		B
	【説明】 施設の老朽化により、修繕及び工事の維持管理費を検討する必要がある。		

総合評価

実績			
中間評価との相違点	修繕が終わると、次の故障箇所が出て、管理運営が難しい状況である。		
事業指標(数値指標)	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】		
中期(28年度)目標値			
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費	9,859	9,809	9,585			
財源内訳	一般財源	4,896	4,373	4,402		
	国庫支出金					
	県支出金					
	その他	4,963	5,436	5,183		

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 公費を投入することは妥当だと判断します。	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	B
	【説明】 管理運営は、町が行い、施設管理は、委託等が必要である。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	B
	【説明】 利用者へ支障のないように管理運営を行っていることから、成果は上がっている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	B
	【説明】 老朽化により修繕等に費用をかける必要がある。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B:妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C:事業全体を見直す必要がある D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 施設の各機器の破損や故障が多く発生しているため、修繕を行う必要がある。	
今後の方針 (課題・意見等を簡条書き)	全体の工事・修繕・管理費を町全体で再度検討し、統廃合で今後の方向性を出し必要がある。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	町民の体力増進、健康維持及び社会体育団体の振興を図るため、管理運営を行うことは必要である。		
今後の方向性	今後も適正な管理に努める。		

平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 生涯学習課
基本構想	交通環境と防災対策の向上	重点的方針	3-2 公共施設の総合的マネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり
分野別方針	自治体経営	実施計画事業	公有財産管理運営事業(No.91)
予算等事業名	町民運動場施設管理運営事業		
目的	公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置、及び、行財政運営の効率化による経費の重点配分。		
内容	・維持管理・運営の検討		
根拠法令・条例等	体育施設の設置・管理等に関する条例及び施行規則		
体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> その他		

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由			

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難
理由	毎年、事業内容を検討しているが、維持管理費の削減は難しい。		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難
理由	修繕及び工事に、維持管理費がかかり、事業の効率化を図りたいが、難しい。		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)		B
	【説明】 屋外施設の為、ネットやサッカーゴールなど破損や錆により、修繕及び工事の維持管理費がかかるため、検討する必要がある。		

総合評価

実績			
中間評価との相違点	修繕が終わると、次の故障箇所が出て、管理運営が難しい状況である。		
事業指標(数値指標)	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】		
中期(28年度)目標値			
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費	13,636	13,523	15,480			
財源内訳	一般財源	11,451	11,487	13,448		
	国庫支出金					
	県支出金					
	その他	2,185	2,036	2,032		

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 公費を投入することは妥当だと判断します。	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	B
	【説明】 管理運営は、町が行い、施設管理は、委託等が必要である。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	B
	【説明】 利用者へ支障のないように管理運営を行っていることから、成果は上がっている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	B
	【説明】 老朽化により修繕等に費用をかける必要がある。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B:妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C:事業全体を見直す必要がある D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 屋外施設のため、各機器の破損や故障が多く発生しているため、修繕や管理方法を検討する必要がある。	
今後の方針 (課題・意見等を簡条書き)	全体の工事・修繕・管理費を町全体で再度検討し、統廃合で今後の方向性を出し必要がある。	

◎評価者[担当主管課長]							
<input checked="" type="checkbox"/>	① 現状維持	<input type="checkbox"/>	② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/>	③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④ 廃止
理由	町民の体力増進、健康維持を図るため、管理運営を行うことは必要である。						
今後の方向性	今後も適正な管理に努める。						

平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 生涯学習課
基本構想	交通環境と防災対策の向上	重点的方針	3-2 公共施設の総合的マネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり
分野別方針	自治体経営	実施計画事業	公有財産管理運営事業(No.91)
予算等事業名	山西プール施設管理運営事業		
目的	公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置、及び、行財政運営の効率化による経費の重点配分。		
内容	・維持管理・運営の検討		
根拠法令・条例等	体育施設の設置・管理等に関する条例及び施行規則		
体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他		

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている
		<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由			

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難
理由		毎年、事業内容を検討しているが、維持管理費の削減は難しい。	

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難
理由		修繕及び工事に、維持管理費がかかり、事業の効率化を図りたいが、難しい。	

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)		B
	【説明】 屋外施設で、夏の約2ヶ月間のみ開館しているため、機械の故障や不具合が多く発生するため、事前の修繕及び工事が必要と考えます。		

総合評価

実績			
中間評価との相違点	大きな修繕及び工事は、ほぼ終了したが、屋外施設のため、今後、工事や修繕が出ることが予想される。		
事業指標(数値指標)	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】		
中期(28年度)目標値			
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費	9,751	9,331	8,771			
財源内訳	一般財源	9,157	8,748	8,192		
	国庫支出金					
	県支出金					
	その他	594	583	579		

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 公費を投入することは妥当だと判断します。	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	B
	【説明】 管理運営は、町が行い、施設管理は、委託等が必要である。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	B
	【説明】 利用者へ支障のないように管理運営を行っていることから、成果は上がっている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	B
	【説明】 老朽化により修繕等に費用をかける必要がある。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B:妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C:事業全体を見直す必要がある D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 屋外施設のため、各機器の破損や故障が多く発生しているため、修繕や管理方法を検討する必要がある。	
今後の方針 (課題・意見等を簡条書き)	全体の工事・修繕・管理費を町全体で再度検討し、統廃合で今後の方向性を出し必要がある。 又、すべての学校授業を温水プールで行うことができれば、開館日数等の検討も出来る。	

◎評価者[担当主管課長]							
<input checked="" type="checkbox"/>	① 現状維持	<input type="checkbox"/>	② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/>	③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④ 廃止
理由	町民の体力増進、健康維持を図るため、管理運営を行うことは必要である。						
今後の方向性	今後も適正な管理に努める。						

平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 生涯学習課
基本構想	交通環境と防災対策の向上	重点的方針	3-2 公共施設の総合的マネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり
分野別方針	自治体経営	実施計画事業	公有財産管理運営事業(No.91)
予算等事業名	町民温水プール施設管理運営事業		
目的	公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置、及び、行財政運営の効率化による経費の重点配分。		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理・運営の検討 ・改修工事及び整備 		
根拠法令・条例等	体育施設の設置・管理等に関する条例及び施行規則		
体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他		

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由			

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 削減は困難
理由	毎年、事業内容を検討しているが、維持管理費の削減は難しい。ただし、長期継続(入札)により、経費削減には努めたい。		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難
理由	修繕及び工事に、維持管理費がかかり、事業の効率化を図りたいが、難しい。		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	C
	【説明】 全体的に、施設の老朽化が目立つ。特に、内部の機械の故障が多く発生している。そのため、全体的に、修繕及び工事計画を明確にして、施設管理を見直す必要がある。	

総合評価

実績			
中間評価との相違点	温水プールの工事計画を検討する前に、廃止及び存続等の判断を出し、今後の方向性が必要である。		
事業指標(数値指標)			
中期(28年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】		
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費	55,270	54,618	63,019			
財源内訳	一般財源	35,071	35,560	44,462		
	国庫支出金					
	県支出金					
	その他	20,199	19,058	18,557		

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 公費を投入することは妥当だと判断します。	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	B
	【説明】 管理運営は、町が行い、施設管理は、委託等が必要である。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	B
	【説明】 利用者へ支障のないように管理運営を行っていることから、成果は上がっている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	B
	【説明】 老朽化により修繕等に費用をかける必要がある。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B:妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C:事業全体を見直す必要がある D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 湿気や塩素などで、各機器の破損や故障が多く発生しているため、改修工事を検討する必要がある。	
今後の方針 (課題・意見等を簡条書き)	全体の工事・修繕・管理費を町全体で再度検討し、統廃合で今後の方向性を出し必要がある。	

◎評価者[担当主管課長]

<input type="checkbox"/> ① 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施 <input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施 <input type="checkbox"/> ④ 廃止	
理由	費用対効果を踏まえた、施設運営を行っていく必要がある。
今後の方向性	公共施設再配置実施計画の方向性により、運営方法を検討していく必要がある。

平成 28 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育部 生涯学習課
基本構想	交通環境と防災対策の向上	重点的方針	3-2 公共施設の総合的マネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり
分野別方針	自治体経営	実施計画事業	公有財産管理運営事業(No.91)
予算等事業名	ITコーナー管理運営事業		
目的	公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置、及び、行財政運営の効率化による経費の重点配分。		
内容	・効率的な管理・運営		
根拠法令 ・条例等			
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている <input type="checkbox"/> ③ 未実施
②、③に対する理由	ITコーナーとして計画通り運営している。		

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 削減は困難
理由	配置機器等のリース期間満了に合わせて、必要性を検討し、経費の削減を図る。		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難
理由	限られたスペースの中でITコーナーと証明書発行を行っており、かつ、ラディアン機能向上につながっており、効率化が図られている。		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 一定のニーズがあることからラディアン機能として継続していくが、機器のリース期間満了に合わせて、方向性を検討する必要がある。	

総合評価

実績	ITコーナーの管理運営		
中間評価との相違点	ITサービスコーナーとして、平成27年11月からパソコンを自由に使える「ITコーナー」と各種証明書発行を行う「サービスコーナー」を設置している。		
事業指標(数値指標)	利用件数		
中期(28年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】		
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	13,345		
	「ITコーナー」の利用状況		

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費	6,805	6,676	4,420			
財源内訳	一般財源	6,581	6,392	4,209		
	国庫支出金					
	県支出金					
	その他	224	284	211		

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	B
	【説明】 IT館廃止の移行期間として、またラディアンの機能向上として公費の投入は妥当である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	B
	【説明】 ITコーナーに関しては委託も検討できるが、現状においては町で実施している。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 ラディアンに設置したことの利便性もあり、一定の成果がある。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 ITコーナーについて見直し、開設時間を短縮し、費用の削減に努めている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 ITコーナーについては、町民の利便性は高いが、IT普及については目的を達成したため、機器のリース期間終了の平成30年度をもって廃止の方向で検討をする。	
今後の方針 (課題・意見等を簡条書き)	ITコーナーについては、パソコンやスマホが当たり前の時代となり、IT普及の目的は果たされたと 思われる。平成30年度の機器のリース切れのタイミングで廃止等の検討を行う必要がある。 サービスコーナー(証明発行)については、今後の方向性について担当課との調整が必要である。	

◎評価者[担当主管課長]

<input type="checkbox"/> ① 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施 <input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施 <input type="checkbox"/> ④ 廃止	
理由	町民の利便性が図られているが、さらに効率的な運営が求められている。
今後の方向性	休日・夜間における行政サービスの一環として、各種証明書の発行業務については、継続させていく必要はある。 また、ITコーナーの設置意義については、検討する要素がある。